日伯新聞

伯國聖市マエストロ・カルヂン街二〇九
ヴエルゲイロ街
(二五八)
發行所日伯新聞社
本紙定價年九ミル
外國郵税共百ミル

自若たり荒鷲群

精鋭百餘機の大編隊
再び敵都漢口を猛襲
武漢三鎮は全く死の沈默

Sr. Kobaya R. Salva

（上海十二日同盟）艦隊報道部發表によれば昨日の漢口空襲に引續き更に十二日正午我海軍航空隊の精鋭百餘機は大編隊を以て武漢三鎮の大爆撃を敢行、折柄の快晴に今や殘敵一機の出現するものなき上空から敵軍の心膽を寒からしめた、即ち漢口及び武昌驛構内及び附屬倉庫群に全彈を命中せしめ大部分を爆破炎上、更に武昌南西區の蔣軍行營被服廠、二師司令部、四師司令部その他軍事施設に殲滅的損害を與へた

【上海十二日同盟】十二日朝我が海の荒鷲大部隊により敢行された漢口大空襲は空前の猛烈なもので、〇噸に及ぶ爆彈の雨に天地鳴動、武漢三鎮は完全に我が攫翼下に制壓された、漢口外人側の傳へるところによれば我が空襲部隊は武漢の膨漢鐵道終點驛上空に近接〇〇機による數次の見事なる急降下爆撃と更に〇〇機は編隊のまゝ同驛上空から爆彈を雨と降らせこれを跡形なきまでに粉碎、次いで揚子江上空を横切り悠々漢口上空に至り飛行場に徹底的猛撃を加へ凱歌を擧げて歸途についたが、連日の我が大爆撃に漢口は全く生氣を失ひ軍民ともに不安と絶望のドン底に追ひ込まれてゐる

【記念日の本日我が海軍航空隊は黎明の漢口上空を空襲、曉の猛爆撃を敢行し漢口全市を慄え上らせた、我が爆撃下に漢口は四ケ所から發火し紅蓮焰を極めてゐる、漢口飛行場に於ては大型爆撃機二機上昇する暇もなく一機は爆破他の一機は完全に炎上し大空中編隊は八・一三のこの日武漢三鎮上空を翼下に置いて悠々歸還した

【紐育十二日同盟】十二日の漢口爆撃につきAP漢口電は左の如くその破壞狀況を報じてゐる

一八月十二日の日本軍の漢口空襲

凄絶空前の大破壞
武昌驛を木ッ葉微塵
大膽不敵、曉の爆撃隊

輝やく爆撃戰果
敵の腰骨完全に碎く

【香港十三日同盟】漢口來電によれば十二日の我漢口大空襲による支那軍被害は次の如く頗る大なるものがあつた

一、膨漢鐵路終點武昌驛を潰滅
一、日本租界内に新設した軍需品倉庫、ガソリンタンクを爆破
一、飛行場を爆撃
一、國民政府デマ策源地たる武昌の中央通信社本社を爆撃
一、敵の死傷約八百
一、投下爆彈約三百五十個

漢口既に落城前夜
最後の備へ次々崩壞
赤色ルートも風前の燈

【北京十三日同盟】目睫に迫つた漢口大會戰を前に共産黨をはじめ四川、廣東、廣西軍閥の離反に苦慮しつゝある蔣介石は事變最後の對峙戰として漢口防備に狂奔する一方、我が軍の兵力分散を企圖、遊撃戰を指導、隨所に戰鬪が展開されてゐるがこの遊撃戰術は悉く粉碎されつゝある、即ち現在北支にあつて中央指導下に遊撃戰を行ひつゝあると看取される重なるものとして百七十七、第七師等の各師及び朱德、彭德懷等を指導者とする第八路軍が數へられ、山西南部諸軍は、我が後方攪亂といふより漢口守備の一部たる赤色ルート確保のための防衛戰と見られるが、我が軍の〇〇進撃によつて却つて危殆に陥らしめるべく第八路軍も多數兵力を容しながら我に何らの打撃をも與へず判明せる死傷兵數約六千、内騎兵隊のみ山西南部に於ける中央軍、四川軍の十二、六十二、六十四、六十七、第七師等の各師及び朱德、彭德懷等を指導者とし、山西五台附近を策源地とする第八路軍が數へられ、山西南部諸軍は、我が後方攪亂といふより漢口守備の一部たる赤色ルート確保のための防衛戰と見られるが、我が軍の〇〇進撃によつて却つて危殆に陥らしめるべく第八路軍も多數兵力を容しながら我に何らの打撃をも與へず判明せる死傷兵數約六千、内騎兵隊のみでも一千五百を數へるといふ慘憺たる敗戰振りを示してゐる

空爆は大膽極まりないもの

【香港十三日同盟】我が揚子江上の貨物船などにも爆彈命中した、次いで武昌全地域に猛烈な爆撃が行はれた一方漢口では鐵道、工業地帶などに對し爆撃が繰返された

皇軍の進撃に狼狽
人力物力を總動員
蔣、第九區を再組織

【香港十三日同盟】我が揚子江遡江軍の進撃に狼狽した蔣介石は最近武漢衛戍總司令陳誠に湖北省を中心とした第九戰區の再組織を命じ、同戰區の正副司令官に陳誠、萬耀煌を又長江南岸前敵總指揮に商震を夫々任命した、右戰區司令部は衛戍司令部、保安司令部、蔣政府各廳を包括する頗る大規模のものであるが更にこれと並行して戰區總動員令を組織し人力、物力を總動員し戰區司令部と協力し武漢の防衛に當らせることゝなつたといはれる

性懲りない敵機
九江で又二機失ふ

【九江十二日同盟】十二日午後五時又も敵軍爆五機は九江上空に現れ爆彈を江中に投下して飛び去らんとしたので我海軍航空隊の三機がこれを追ひ跡、湖口南方で二機を撃墜した

手代木代議士等
ソ聯兵に狙撃さる
樺太國境視察中の御難

【豊原十三日同盟】樺太廳十一代議士一行四名は半田澤國境の視察に際して、半田澤派出所松田巡査部長以下巡査三名を同行これが保護取締中、第三號國境碑附近國境線より北方數メートルのソ領内叢中に歩兵七、八名潜伏しをり不法にも突然我方に向つて七、八發々砲狙撃し來り取締中の巡査一名は腹部に貫通銃創を受け一名は頭部及び腹部に擦過傷を負ひその他は負傷なき模樣、我方より越境の事實なし、警備警察官は爾後國境附近で厳重警戒中なり

一日緩急に備へ
獨、穀物貯藏令を布告

【伯林十二日同盟】獨逸四ケ年計畫長官ゲーリング元帥は十二日穀物貯藏に關する布告を發し、穀物貯藏局に今後貯蔵倉庫を徴發する權限を賦與される旨發表した、右は本年大豊作のため穀物貯藏に特殊便法が必要となつたためだと布告では述べてるが獨逸政府は最近穀物貯藏に關し種々な法令を出してをり何れも一旦緩急の場合に備へての措置と解される

第三國人の仲裁
絶對に排撃する
重光大使、明白に拒絶

フノビトリ重光第三次會談

【東京十三日同盟】重光、リトビノフ第三次會談の内容を發表したが、右會談では既報の停戦協定が成立した他、國境再確定に關する國境確定委員會につきリトビノフ氏より右委員會の仕事を効果的にするため第三國人を容れる事に拒絶した

【東京十三日同盟】重光、リトビノフ第三次會談の内容左の通り

重光大使　貴方は國境確定に異存ないようであるが、問題の線の兩側に双方の軍隊が對立してゐてはそれも不可能であるから自分の案はこの狀態を解除するにあるが之につき貴見を伺ひたい、即ち理春界約によるソ側主張の線の兩側へ例へば一キロの距離を開けて双方の軍隊を後退せしむることとし、靜謐を取り戻し國境確定に着手することにつき御異議があるか

リ氏　前回も申した通りソ聯軍隊の後退には反對であるソ側領土のことであるからソ兵はその欲するところに駐兵する權利あり、ソ側は滿側に向つて攻撃したことなくまたしないからソ兵のゐることは國境確定に妨害となることはないであらうと前説を繰返した

重光大使　ソ兵がソ聯領地に駐兵し得ることは勿論で右は日本側についても同樣である、ただ相方の軍隊互ひに睨み合つてゐる狀態のまま國境確定をすることは不可能であるから右確定終了まで一時の便法として右睨み合ひの狀態を解除することが最も實際的と考へられる、即ち双方が

小銃

の射程距離外に

あるよう双方一キロ位の間隔を置いて戰鬪行爲を停止し國境確定を行ふことを提議するものであるこれ不幸な出來事を平和的に解決しようとする我が方の熱烈な希望である、又戰鬪行爲停止の細目については現地に於て兩軍代表者間に於て取極めるを可とする

リ氏　日本兵が日本側が滿領なりと主張する占領地點より後退し右奈間地帶には双方立入らないことに同意であるが、我方はソ領内にあるソ兵を外國の要求により撤退することは出來ない右は別として戰鬪行爲の停止には同意するに付き八月十一日正午(沿海州地方時)あらゆる戰鬪行爲を停止することを命ずることゝしては如何、尚國境確定委員會については右停戦協定と同時に協定する必要があるであらう

重光大使　停戦協定の實行は現地に於て兩軍の

代表

者間に行ふことが必要である

リ氏　協定は貴下と自分との間に作れば充分で現地軍代表云々は必要でない

重光大使　たゞ實際問題として現地に於て何等誤解ないよう又豫期しないことの發生しない樣双方軍代表に於て打合せをなすこと必要であると思考する

リ氏　それには異存ない、次に國境確定委員會のことであるが、右委員會の仕事を効果的にするためには第三國人を容れなければならない、即ち少側代表二名、日滿側併せて二名、外に外國の仲裁者一名をもつて交渉すべきである、勿論仲裁者は双方合意のものをすべきである

重光大使　それは全然新らしい問題でこの際かゝる提議をするは問題を徒らに複雑化し停戦に關する話合を無關と長引かすだけのことである、故に此點は貴方に於て撤回せられんことを希望する

リ氏　尚國境委員會のことにつきその事業の基礎として支那及び

帝政

ロシアの代表者が證明した條約

地圖などを基礎となすことが必要であると思考する

重光大使　只今言はれた國境とは紛爭地である張鼓峯方面の國境を指すのであるか尚條約地圖などは勿論これを委員會に於て審議するに異存ないが、右以外日滿側の有する資料を審査することが必要である

リ氏　確定せんとする國境はもとより貴説の如く問題となつてゐる紛爭地區に存する問題である、而して國境は當事國間の條約によつて決定せられるもので、それ以外如何なる材料を考慮に入れるかは了解に苦しむものである

重光大使　資料中に於て最も參考となるのは條約であることと異存ないが、條約以外に實際上の問題（標識境界の石）に關する資料を蒐め委員會に於て審議すべきものと考へられる、我方としては條約地圖などは勿論これを審査するものでない、即ち

條約

は主な材料であるがその他の材料も排斥すべきものでないといふのが我方の主張である

リ氏　國際條約に矛盾しない材料は考慮して差支へないが條約と矛盾する場合は條約法が決定權を有すべきものである、特に停戦取極めについては本日午後十二時の狀態にて戰鬪を中止しようとする機會であるから、なるべく早く決定したい

重光大使　停戦協定の方は今一應研究の上二時間内には確定する意志、尚他の問題は政府に報告の必要もあり直ちに回答出來ない

右にて同六時半一旦會談を終つた

日伯漫談

須田町人

譲の美德などを發揮しやうものなら、いつも貧乏してアフれて居なければなりませんが、日本人は兎角自分の權利なり希望なりをハツキリ云ふことが下手でしてねえ、この位云へば後はよろしく推察してくれるだらふといふのが日本人のクセです、ところがこれは外人にはサツパリ向きませんや、日本じや

藝者や女給

と渡り合ふ場合、そう物事をアケスケに言つたんじや野暮なお客としてベケを喰ひますから、成る可く解らないやうな解つたやうな、氣のあるやうな氣のないやうな應待をして、それで要領を得やうとするんですが、ブラジルあたりでそんな込み入つたヤヤコシイことをしてたんじや色事だつて出來ませんや、何でもこうすきならすきとハツキリ云はないじやモノになりません、その代りきらひならきらひで、あゝさよか、そんならほかを聞いてみませうと云つた

要領が必要

です、尤もバトリシオ同士の間でこの手をやつちやや台無しですが、少くとも外人に向つちや給金はいくらいくら欲しいとか、私やあなたに惚れたとか肩骨に云つてのけるのでないとあきまへんなあ、推量してくれるだらふでダヤなお話がありますよ、フアゼンダあたり夜中に火事があつたとしますねえ、半鐘が鳴るので皆出て行つて火を消し、午前の二時頃鎮火して皆家に歸つて寢ますなあ、そうすると五時にはもう仕事の鐘が鳴ります、その場合外人カマラーダはちやんと時間に出て來ますが、日本人は大抵、昨夜あの位骨折つて働いてるんだから、今朝は少し位遅刻したつて支配人文句は云はないだらうズルをきめますなあ、此の邊の心理は

報酬を先取

りすると

いふのか例のそれ位のことは先方の

義務は義務

非常時は非常時と無學ながらもチヤント區別して、決してゴツチヤにせぬところが酒落てますよ、日本人のやうに報酬を先取りの意味でズルケルなんざあ、横着といふもんでさあナニ耳が痛い、そりやままあお氣の毒なことで方で推察してくれるだらうと讃るのか、兎に角そこん所は大分外人とやり方がちがひますなあ、手前どもバトリシオを悪く云ふのはきませんが、こいつはどうやら外人カマラーダのする方が本筋のやうですなあ

* *

第三回全伯野球大會

全伯の野球部選手が過去一年間心血を注ぎ、練り鍛へた精神と體力、而して技倆を試錬すべき本社主催第三回全伯野球大會は九月二日より三日間スダン野球場に於て擧行致します

暴支膺懲の聖戰を起して早くも一周年、長期戰下に於ける銃後同胞は益々心身を鍛練して各自の本分を守り祖國の超非常時に處すべき時參加選手諸君は特に現時局の要求する處を深く認識して、本大會を意義有らしむる樣萬全の努力を拂はれん事を切望致します

大會定規

（一）本大會は「A・B式リーグ法」に依り行ひ、昭和十三年朝日年鑑所載の野球規則を適用す
（二）大會參加資格地方豫選大會の優勝チーム
（三）大會參加チームの選手數は十三名以内とす
（四）大會出場チームに對しては、一チーム十三名を限度とし、聖市迄の往復汽車賃（二等團體賃金）及び大會開始前日より終了日迄四日間滞在費を主催者側にて負擔す

に療治防豫

に進増慶健

藥

地方販賣代理店
日伯社營業部
聖市郵函 三七五番

元輸入
原商會
聖市郵函 二〇一二番

名匠の至藝に聽く日本譜!!
ヴアイオリン獨奏
28855 宵待草
螢の光
コンプレヒト・リ
伴奏マツク・スヤノウスキ
（八月新譜より）
日伯社コロムビア部
コロムビアレコード

蒔付には定評ある
下矢製播種機
を御愛用下さい
最新改良品
並型、特型、特中箱型の三種
精巧、堅牢、便利
斯界の王
御注文は本社出張員又は
取次所 日伯社營業部

珈琲界前途やゝ好望

過ぐる九三〇年革命政府が珈琲政策を變更してから本年七月末までに燒却廢棄された珈琲果は六千二百萬俵といふ莫大な數量に上つたが、右の外業界不振に基く經營難のため農家自ら廢棄した珈琲樹も聖州のみで既に五億本を超える旨、一兩日前州農務省から發表あつた、本年は天候兎角不順、八月も半ばに入つた昨今の冷氣はリオ天文臺の發表によると四十年來の現象の由で、採集作業直後の珈琲樹に與へる惡影響尠少ならぬものがあり、且つ一時下火になつてゐたステアアノデレスも何時の間にか蔓延し、獨り舊地帶のみならずノロエステ、ソロカバナ、パウリスタ延長線等新地帶まで侵入しをる模様であり、爲に九三八―九年度收穫は大減收を豫想せられてをる、斯の如く聖州珈琲は人爲調節と相俟つて自然的調節が行はれてゐるので、需給關係改善に大きな役割を演じ、生産者に過重なる負擔を强要して來た犧牲割當制度も最早や來年度以降は存續の要なきに至りはせぬかと見られ、當の珈琲院當局者も大體その意嚮であると傳へられる

サントス港七月中の珈琲輸出高は休日の多かつた爲か、空前の記錄を樹立した前月の百十五萬三千俵には遠く及ばなかつたが、それでも九十萬二千俵と本年上半期平均値に近い數量に達してゐる、この一ケ月に現はれた成績を以て新年度の輸出高を豫想することは困難だが、去年十一月新政策採用による効果も順調に現はれ、歐米主要市場に於ける供給成績を見るも概して滿足なる傾向を示し、且つ消費宣傳も本格的に行はれてるようであるから、前年度の全伯總輸出高一千四百六十萬俵を超すことは確定的事實といつてよく、專門家筋も一千六百萬乃至一千六百五十萬俵は動かぬところと推測を下してゐる程である、相場もサントス標準品は前月末十九ミル臺に上り、昨今は十九ミル六百まで漕付け而もなほ强氣を示してゐる

斯くて伯國珈琲界には再び春が訪れるかの氣配を見せてゐるが、又一方より考へれば海外市場における伯國珈琲の供給增加といふも、それは專ら約十年の長期に亘つて苦んで來た不況時代に對しての話で、他戰爭國がその全生産量を苦もなく輸出し盡してゐるのに比ぶれば、なほ大きな犧牲の伴つてる事實を肯定せなければならぬ、即ち伯國は依然國内に莫大なストックを抱へ廢棄政策さへ續行してをる狀態で、農家が安んじて珈琲生産に依存出來るまでには幾多の難關突破を覺悟せねばならぬこと云ふまでもない

窮境打關の方策は勿論一、二にして盡きないが、差當り最も緊急を要するは農家に對する金融であらう、それは州當局に對し善處方要請しをる所である、現に伯銀貸出局の水に似た憾みなしとせぬ、業務の前途に確信さへつけば、本年の貸出高八千コント、聖州銀行が二萬五千コント出してをり、他に關係商社からも相當額に上るが、犧牲聖州のみに終り、差當り割當實施中の今日では抵當とする需給の均衡狀態も、ついで、然らずんば謂ふ所の優良品の生産も合理的栽培も掛聲のみに終り、莫大なる犧牲の結果やうやく到達しようとする金融の爲めに、差當り四十ミルの融資が農家を保し難いのである

融資率は當然引上ぐべきであるが、一兩日前州農務省から發表あつた、本年は天候兎角不順、八月も半ばに入つた昨今の冷氣はリオ天文臺の發表によると四十年來の現象の由で、採集作業直後の珈琲樹に與へる惡影響尠少ならぬものがあり、且つ一時下火になつてゐたステアアノデレスも何時の間にか蔓延し、獨り舊地帶のみならずノロエステ、ソロカバナ、パウリスタ延長線等新地帶まで侵入しをる模様であり、爲に九三八―九年度收穫は大減收を豫想せられてをる、斯の如く聖州珈琲は人爲調節と相俟つて自然的調節が行はれてゐるので、需給關係改善に大きな役割を演じ、生産者に過重なる負擔を强要して來た犧牲割當制度も最早や來年度以降は存續の要なきに至りはせぬかと見られ、當の珈琲院當局者も大體その意嚮であると傳へられる

サントス港七月中の珈琲輸出高は休日の多かつた爲か、空前の記錄を樹立した前月の百十五萬三千俵には遠く及ばなかつたが、それでも九十萬二千俵と本年上半期平均値に近い數量に達してゐる、この一ケ月に現はれた成績を以て新年度の輸出高を豫想することは困難だが、去年十一月新政策採用による効果も順調に現はれ、歐米主要市場に於ける供給成績を見るも概して滿足なる傾向を示し、且つ消費宣傳も本格的に行はれてるようであるから、前年度の全伯總輸出高一千四百六十萬俵を超すことは確定的事實といつてよく、專門家筋も一千六百萬乃至一千六百五十萬俵は動かぬところと推測を下してゐる程である、相場もサントス標準品は前月末十九ミル臺に上り、昨今は十九ミル六百まで漕付け而もなほ强氣を示してゐる

斯くて伯國珈琲界には再び春が訪れるかの氣配を見せてゐるが、又一方より考へれば海外市場における伯國珈琲の供給增加といふも、それは專ら約十年の長期に亘つて苦んで來た不況時代に對しての話で、他戰爭國がその全生産量を苦もなく輸出し盡してゐるのに比ぶれば、なほ大きな犧牲の伴つてる事實を肯定せ

現地交渉進む

睨み合の狀態を解除
事件再發を絶對防止
日ソ兩軍主力、後退を約す

【東京十五日同盟】陸軍省十三日午前十一時二十分發表

十二日午後九時半頃覺書の概要左の如し

兩軍代表は張鼓峯陵線北部に於て日ソ兩軍極めて接近しある特殊事情に鑑み左の協定を爲す

一、張鼓峯陵線北部に於ける現狀に就きさし當り兩國政府に報告すること

二、日ソ兩軍指揮官は軍事行爲停止に關し兩國政府の決定により今後張鼓峯附近に於ては如何なる事件も發生せざるため万全の處置を執ることを保障する

三、一九三八年八月十二日午後八時より日ソ兩軍は張鼓峯陵線に於て日ソ兩軍主力〇〇部隊長は十二日國境線附近の某地に於て記者を引見次の如く語つた

國境警備の重任を幾分なりとも果し得たのは全く部下將兵の獻身的働きの賜であ

名を行ふ筈である、兩國代表は昨十二日の午後から五十二高地南方より逐次現地調査を行ひ日本軍が張鼓峯頂上を完全に保持してゐることをソ軍代表に確認せしめた、ソ軍代表はシュテルン大將の外にセミョノフスキー（政治部少將）ウエソトフ大佐、我が方の委員長大佐、吉田中佐、田中少佐

第一次交渉

【〇〇十三日同盟】日ソ第二次現地交渉は午前十一時半より張鼓峯山麓の防川項小學校に於て日本軍代表長男大佐とソ第二次現地交渉を終つた

日正午の戰鬪行爲停止以來日ソ兩軍戰死者の屍體搜査並にその收容については双方に於て能ふ限り便宜を與ふべきを約し兩軍陣地内の彼我屍體などを提示合ひ最後に私的意見をも交換して午後三時半日ソ第二次現地交渉を終つた

皇軍大盤石の構え
思ひ知つたかソ聯
國境防備の某部隊長談

【〇〇十三日同盟】張鼓峯事件發生以來はやる部下を制してよくその大局を過たず我が國境線を盤石の安きに置いた

〇〇部隊長は十二日國境線附近の某地に於て記者を引見次の如く語つた

國境警備の重任を幾分なりとも果し得たのは全く部下將兵の獻身的働きの賜であ

る、當初自分はこの事件が今日程擴大しようとは豫想だもしなかつたが、皇軍の威信保持上遂にソ軍兵の挑戰に應じ矛をとるの已むなきに至り双方多數の犧牲者を出すに至つたことは誠に遺憾千萬といはざるを得ない、幸ひモスコーに於ける外交々渉によつて兩軍は戰鬪を停止し即時現地交渉を開始したが、自分はこれも圓滿解決に達することを信じて疑はない、今回の事件を通じソ軍は日本軍が一度起つれば如何なる困難をも排

勇武の朝鮮軍に
閑院總長宮より有難き御諚

【東京十三日同盟】閑院參謀總長宮殿下には朝鮮軍が張鼓峯事件に關し克く皇軍の威武を發揮せる勞を多とせられ、十一日中村軍司令官に對し御言葉を賜つた旨十二日左の如く發表された

朝鮮軍發表　閑院參謀總長宮殿下には特に朝鮮軍司令官に對し左の如き御言葉を賜ふ、之に對し軍司令官は恐懼謹みて御禮を言上した

御言葉

攻撃に適せる措置により國境の警備を全ふし、不擴大方針を堅持して困難なる戰鬪を遂行し、力戰健鬪よく皇軍の威武を發揮せり、深くその勞を多とするとゝもに戰歿の英靈を悼み、傷病の將兵を慰む

復興の軌道に乘り
中支那建設に拍車
内河汽船三會社を設立

【上海十三日同盟】中支那の復興建設事業は事變以來一年ゝあり、又十月末設立されるにして早くも軌道に乘り維新中支那振興會社に先んじて既に子會社たる鐵鑛、水道、電政府に於ては上海々關を手中に收め近く統稅機關、鹽業、通信の日支合弊會社が生

（會社として内河汽船三會社が成立してる、部門別復興建設の狀況左の通り

一、公共事業電氣通信に關しては華中水電公司の設立を見、上海に於ては電氣、水

怪しいぞ 琿春 界約
事件の裏に不純な動機
米紙、ソ聯の野心仄かす

【紐育十二日同盟】クリスチャン・サイエンス・モニター紙は十二日の紙上に「誰の國境か」と題する社説を掲載して今回の日ソ國境紛爭に關して左の如く述べた

日ソ國境紛爭の解決は地圖上にも決定的な貢献をなすものだが、問題の地點が餘りよく知られてない土地であるところから見てもこの事件の裏には國境確定以外に何らかの動機があるようだ、停戰協定が發表される前にソヴエット政府は問題の國境は既に一八八六年の琿春界約によつて決定してゐると稱してゐるが、この

道共に完全に復舊南京、杭州、蘇州、常州などの電氣水道も着々回復を見てる

二、交通、通信、鐵道は應急修理を完了、バスに就ては上海、南京兩市内路線を公中公司が、又上海無錫間を大直公司が經營、内河公司は上海内河汽船會社電信、電話は河中電氣通信會社が經營を行つてゐる

三、工業復興、紡績、製紙、セメント、製粉、硫安、煙草、鐵鑛をはじめとしアルコール、ゴム、冷藏庫、硫酸、製紙などの何れも日支共同經營により操業を開始し

條約はマラマレイ及びハーレットの二大條約中にも掲載されてない、併し十八世紀から世界大戰にかけては秘密條約が多かつたからこれらの條約も掲載されたいといふ理由のみでソ聯の主張が間違つてゐるとはいへないだらうが、當の支那もかゝる條約を知らぬといつてゐる

四、商業復興＝維新政府實業部の手により交易所條令を發布し取引所の復興を計畫中である

五、資源開發＝當塗附近の鐵鑛開發に就ては華中鐵鑛公司が創立され、杭州灣一帶の水産業振興のためには魚市場會社が設立され、又棉花の改良增産、海州以南の水田開發に就ても目下計畫を進めつゝあり、洋々たる前途は著しく注目を惹いてゐる

或ひは操業準備を進めてる

昨日の敵、今日の友
飢えたソ兵に糧食
床し、皇軍の情け

【〇〇十三日同盟】停戰協定成つた十一日午前十一時頃張鼓峯山麓の鐵條網を挾んで現れたソ聯兵數名は頻に我が兵に向つて食糧の缺乏を愬へて

来たので我が兵は早速部隊長に報告し、食糧を取り鐵條網ごしに與へるとこれを受け取つて

盟邦獨乙、完全に
日本の肩を持つ

【伯林十二日アバス】獨乙政府機關紙政治外交通報は日ソ休戰協定を批評し、日本の勝利だと述べ

併し乍らソ聯は凡る機會を利用してなほ新しい紛爭を挑發する

日本の盟邦獨逸は日本側の權益並に和平維持の方策を全的に支持して來た、獨乙政府としては到底日ソ紛爭に無關心たり得なかつた、而して日本の肩を持つたことは當然である、かゝる故にリツベントロップ外相はその點を東郷大使との面談に於て强調する所あつたものである

滿洲國政府
正々堂々對處

【新京十二日同盟】張鼓峯事件發生以來その急速且つ平和的解決に努めて來た滿洲國當局は停戰協定成立に關し遺憾ながら結構なことだとの見解を表明してゐるが、殘された國境確定問題に關しても飽くまで正々堂々たる態度で問題の處理に衝る筈である

銃器も持たず
刀一本で會見
豪膽長大佐に敵もたじ〳〵

【東京十三日同盟】停戰協定第三日の十三日張鼓峯上並び皇軍防備最前線の猛將〇〇部隊長を訪れた、靜まり返つた戰場には秋の草花が咲き亂れその中に立つた將兵は思出深か氣に左の如く二旬に亘る健鬪の跡を語り出した

卅一日以來張鼓峰とこゝに繰り擴げられた激戰は文字通りの死鬪だつた、來る日も來る日も前日に增しての苦鬪で世界戰史にも稀な防禦戰であつた、隱忍自重して克く自分の命令を遵奉してくれたのには部下乍ら感歎の外はない、可愛い部下の近くに敵彈が落ちるのを見ると全く胸が痛む思ひがした、一昨日の現地交渉にはソ聯は極東方面參謀長が攪錬を持ち敵約一中隊を引きつれて來たが、我が長大佐はピストルも持たず刀一本で會見した、この豪膽さには敵も驚いたらしい、何でも木村長門守の心意氣で行つたのだと述懷してたが最後に今度の戰鬪で失つた尊い犧牲者のことを思ひ浮べて知つたこと〻思ふ

御挨拶に親徧にお土産に現地よりの御注文に應じます

かまぼこ　惠比須屋

聖市トーマス・デ・リーマ街二八三　郵函三六八

急募
文撰字植少年

詳細面談左記へ

日伯新聞社

社告

サンユキアー線　鈴木一典
ベンナポリス　金子佳央
ピリグイ　金森茂
聖市サントス間　安岡雄
奥ソロ　伊藤二郎
マリー、アロ變更線　手島明巳
アラサツーバ
ノロエステ線
セントラル線　清地幸操
右各出張員を出張致させ居ります、諸賢の御配慮を願上ます

日伯社營業部

Dr. Paulo Villela de Andrade
= MEDICO =
一般醫科、手術、肺・心臟病、消化器官、肝臟、膀胱、婦人病、小兒科
X光線科
Rua Luiz Gama, 566
Lins
（キング・ホテルの近く）

Dr. HACIB SAYEG
辯護士
ドトール・ハシブ・サイエグ
民事訴訟、商事、犯罪事件取扱ひ
附屬事務地方に對する回收用件確實＝効果的＝迅速
R. São Bento, 389 5° and. Tel. 2-1868
São Paulo

Dr. R. Uchida
Pres. Prudente
プ・プルデンテ市マノエルゴウラルテ街七六
醫學士 内田利藤次
電話 一五〇番
郵函 二四八番

雇れたし
自家用自動車及びガラヂを洗ふ仕事
當方青年
詳細は……
Conselheiro Furtado, 93
Tel. 2-4476 S. Paulo

賣もの
小レイテリア顧客多し
お値段は御相談に應ず
詳細は
Rua Bueno de Andrade
No. 712 - São Paulo

移轉御通知
今般業務擴張の爲め左記の處に移轉致しましたから舊に倍する御引立の程願上ます

（舊住所　ルア・ド・カルモ十八）

移轉先
聖市ブエノ・デ・アンドラーデ街二六一
郵函四一二八

賣藥　長森聖榮堂
輸入元

分讓
荷薄苗　栗苗
葡萄苗　柿苗
蜜柑苗　梨苗
ウド苗　蕗苗

農家の副業として最も有利なる右記の苗を分讓す
苗木に制限あり至急申込まれ度し

聖市　耕農園
R. Pedroso de Moraes, 791
Caixa Postal, 3952
Allo-Pinheiros, S. Paulo

ブラジルの法律辭典！

第四輯　註釋付 ブラジル刑法（全）
菊判　三百頁　定價十ミル
第五輯　註釋付 ブラジル民法（全）
菊判　三百頁　定價十ミル
約十葉入　寫眞　出版　九月
（送料五百レース）

本書は「刑法」に關する規定を網羅し、懇切なる註釋を施してあるから、一讀何人も刑事問題の何たるやを容易に會得し得る。暗黑面の探訪記は本書の附錄を飾るもの。多數の新法・令も入れてあるから再讀以て現下非常時に善處せらるゝが賢明である

（送料一ミル）

豫約募集　最も廣汎且つ重要なる「民法」を全譯し適確なる註釋を附けた本叢書中の最高峰……「新法令集」に新規定を解説し其手續樣式を掲げたり

豫約締切（八月末日）　豫約二十ミル（送料共）

第二輯　ブラジル法律早わかり　特價十ミル
第三輯　ブラジル新憲法　定價三ミル　送料共

送金はコンパロール、バレボスタール、銀行小切手で

發行所　ブラジル法制研究所
聖市サン・ジョアキン四四七（大正小學校下）
Eizo Suzuki - C. Postal, 3123 - S. Paulo

日伯新聞社主催
第三回全伯野球大會
聖市豫選御通知

日伯新聞社主催の第三回全伯野球大會聖市豫選大會開催に關し日伯新聞社より右豫選會の主催を本倶樂部に委任されましたので本倶樂部では左記の要綱に基き豫選大會を擧行することに決定致しましたから揮つて御參加下さるようお願ひ致します

豫選大會要綱

一、豫選區域　サンパウロ市内
一、主催者　サンパウロ野球倶樂部
一、會期　來る昭和十三年八月廿八日（日曜日）
一、球場　絳谷球場
一、申込期日　來る昭和十三年八月廿五日迄
一、申込所　サンパウロ野球倶樂部本部（常盤ホテル内）
一、規則　昭和十三年度發行朝日新聞社編野球規則に依る
一、用球　大學リーグボール
一、豫選費　出場チームにて分擔のこと　以上

昭和十三年八月十四日

サンパウロ野球倶樂部

ソロカバナ驛左へ三百メートル
ルス驛右へ二百メートル
太陽ホテル　黒岩シエ
聖市ゼネラル・コート・デ・マガリヤンエス街六二

公告

リンス武德會演武場設立に就きまして、大方諸彦の多大なる御後援を辱ふ致しましたがリンス中央日本人會並に汎リンス青年會の御援助によりまして、今回新青年會館内に見事なる演武場の設置を見るに至りました沟に感謝に堪えない次第であります

今や母國は國を擧げての國民精神も武道を通じて青年の修養を奬勵すべく益々有意義に本道場の活用を期して居る次第であります、就きましては其の第一手段として先づ汎リンス武道部と合流する事に致しました

備品其他御後援により設備致しました物件は特に之を銘記し永久に御厚志を記念致すことに致します

鼓に合併の次第を公告し重ねて諸彦の御厚志に對し深厚なる感謝の意を表明する次第であります

昭和十三年八月十四日

リンス武德會
創立委員會

總裁　多羅間鐵輔
副總裁　今田求

時代の要求する
經濟的な
アポロ舶來インキ
電話二四七八
アテリエル
●寫眞●　千田
杭州料

劍道防具・竹刀入荷御案内!!!

⊙劍道防具黒革塗胴特製品
⊙劍道防具生地革胴
⊙劍道防具竹胴上製
⊙劍道着劍道用袴
⊙竹刀（日本魂印）三尺八寸
⊙竹刀（八幡印）三尺八寸
⊙竹刀（赤心印）三尺六寸
⊙柔道用畳

伯國柔劍道聯盟指定
輸入元　國井商店

銃後若人の意氣高から！

選ばれたる舌の戰士 申込み早くも九團体突破

第二回全伯青年辯論大會 九月四日夜聖市で開く

昨年聖西聯合青年會が汎く全伯の若人に呼びかけて開いた第一回全伯青年辯論大會は非常時下銃後若人の意氣も雄々しく美事な實を結び全伯辯論聯盟結成の運びとなり、いま第二回大會が擧行されんとしてゐる、時恰も廣漠たる炎熱の支那には我等の將兵が千里曠野を馳驅して武勳いよ〳〵高きを加へつゝあるとき、つぶさにその辛苦を偲び戰の野に起つと起たざるとを問はず、內外相呼應し相戒めるの心をます〳〵固める覺悟がとくに痛感される、殊に本年は斯界統制の旗幟も勇ましく歷史的大會として意義深くも、初めての試みとして各地方代表により對抗試合が行はれるが、選ばれたる舌の選士が母國の「國民精神總動員」に呼應して壇上より吐く火の如き熱辯は聽く者をして感激の坩堝に捲き込まずにはおかぬであらう

第二回全伯青年辯論大會は來月四日午後六時半から、聖市サンジョアキン街リラ倶樂部（大正小學校上隣）で華々しく擧行されるが、大會準備委員會では一昨十二日夜日本倶樂部に集會本年度大會役員並に審査法その他につき左の如く決定した

大會役員

名譽會長 坂根總領事
會長 君塚愼氏を推し目下交渉中
副會長 下元健吉
審査委員長 南里淳
審査委員 各邦字新聞代表、教普會代表、海興代表
幹事 海老名、井上、手代木、內海、岡川、坂本

優勝者表彰

優勝チームには優勝旗を授與（三ケ年連勝チームに永久的に渡す）個人優勝者には一等から三等までカップ（永久杯）四等五等メタル出場辯士には參加章を出す他一等から十等までの入賞者にはヂプローマを出す

▲審査方法 其他は昨年同樣

尙本年度大會の目新しい處は大會後一等から十等までに入賞した者の原稿をそのまゝ印刷にして記錄に殘すと共に、大會の翌日入賞者役員の座談會を催す點である

因に八月十三日現在までに申込んだチーム並に氏名は左の如し

▲イツペラーバ中央青聯 秦泉寺一二
▲汎リンス青聯 原口重行、片岡嘉輔、竹內仙三
▲文化植民地青聯 菅原正守、木下功
▲國際植民地青聯 沼田信一、半田務、手島丈夫
▲バストス青聯 岐部一二三、尾崎淑孝、御笄四郎
▲聖西聯合青聯 黒川幸雄、松岡嘉郎
▲プロミツソン青聯 久米川照明、植木正雄
▲フイゲーラ青聯 室井吉郎
▲ビリグヰ青聯 米谷謙次郎、中村義夫、和島重信

この他モヂ、スザーノ、パウリスタ各青年聯盟から豫約申込がある

全伯青年辯論聯盟 九月三日創立總會

聖西聯合青年會の音頭取りで昨年第一回全伯辯論大會が催されたが、斯る全伯的大會を一聖西聯合青年會で主催するより全伯青年聯盟を結成してその主催にしてはどうかとの聖西聯合青年會よりの申出によつて結成準備を急いでゐたが、各地方でも翕然これに參加する事となり第二回大會の前日午後七時から日本倶樂部で創立總會を開催、左の件を協議することゝなつた

一、規約審議
一、役員選擧
一、明年度の事業計畫

流線型

◎…けふ行はれる筈だつたサンベルナルドのゴルフ場開場式は降り續く雨のためお流れとなり來る廿一日に延期

◎…過般新設された工業院は一般勞働者に種々な恩典を與へ勞働者保護院のようなものであるが、同院はその手始めとして一般勞働者に安くて滋養價値のある衛生的な食物を供しようといふので公衆食堂設立案を提案、大統領の裁可を得た、なほ右食堂は主として工業勞働者向のものであると

◎…日本では鐵の節約で日常使つてゐるナイフも瀬戸物に變つてゐるといふ、瀬戸物のナイフで鉛筆が削れるといふのだから戰時が生んだ噓のようなほんとう

◎…邦人社會に專賣特許流行時代を現出してゐるが、屑繭から人造皮革を製造する方法を試驗中の邦人がカンピーナスにある、成績良好で先づ子供靴から試作するといふ、やがては「あんよは上手、お靴はかひこ」といふ日も來る

◎…夫が働きに出た留守に妻はカマラーダと逃げてしまつたが、妻の連れ子の十八歳になる娘と偕老同穴を契つてしまつたオトツチヤンがポンペイヤ奥にある

◎…明十五日はディア・サントで官公衙は半休です

聖西から…

優勝旗はこちらへ

サンパウロへ抗議 問題化した少年陸競大會

教普會サンパウロ地方支部主催の第一回サンパウロ少年陸上競技大會は既報の如く去る七日聖市エスペリア倶樂部で華々しく行はれ大成功裡に終了したが、圖らずも選手年齡問題で聖西區學校協議會から右大會主催者に對し嚴重抗議が提出され問題は表面化するに至つた

右は右大會にサンパウロ區選手として活躍男子A組百米突に十三秒の好記錄を出し又走幅跳にも優勝した曉星學園の佐藤繁雄君の年齡が、聖西學校協議會の知る範圍では一ケ年以上を超過してゐるため、優勝チームサンパウロに授與された優勝旗を改めて第二位の聖西に授與されたしと主催者に抗議したものであるが主催者たるサンパウロ學校協議會並に成行きを重視した教普會では、優勝旗授與は別問題としても右年齡問題が大會機構の中樞をなすものである以上徹定的に調査を進め、然る後善後策を講ずることゝし取敢へずバウル！領事館宛同選手年齡照會狀を發した

同君が學籍をおくオズワルドクルーズ中學校へ提出したナツシメントに依ると一ケ年半超越して居りこれが問題となつたもので、教普會でも地方に範となるべき中央大會のことであり、年々隆盛を加へるべき本大會の將來にも影響するところ甚大であるに鑑み、目下善後策を講ずると共に問題の眞相を調査中である

寫眞說明

「上」バルボーザ氏（代理）と花束を捧げる女子青年團員並に淸水、石井兩氏

「下」バルボーザ氏の寫眞を中央にフエルナンド氏とデエツリーナ市長

十六ケ年の憂鬱一蹴！

邦人側に軍配上る サンタアメリカ植民地祝勝會

リンス驛サンタアメリカ植民地々權に關する十六ケ年に亘る久しき係爭は屢々領事館なども捲ぞえを喰つて連々として落着を見ず、植民者も鍬引く手躊躇し勝ちで惡夢に脅えつゝ過して來たが、去る七月六日のリンス地方裁判所のジオナート・オタビヲ・フエルナンデス氏の判決の下に目出度くバルボーザ氏が勝訴となり、久しく植民者の心を暗くしてゐた地權問題は完全に解決が着いたので、バルボーザ氏の獻身的努力に對し深い感謝の意を表するため去る八月七日サンタ・アメリカ小學校で「勝訴祝賀會」が大々的に行はれた

この日バルボーザ氏は聖市よりの急電に上聖したので代理フエルナンド氏やヂエツリーナ市長を初め外人有志四十名を招待、午前十時校庭にてヨランダ葡語教師司會の下に祝賀會を擧行、バルボーザ氏代理の挨拶、小學生、女子青年團より花束を贈り、植民者代表の感謝の辭に次ぎ小學生兒童の祝賀舞踊などの後酒宴に移り、シュラスコに麥酒の滿を引き武田日會長の葡語演說などあり和氣靄々裡に記念すべき一日を過したが、宴酣の時恰も總領事館からの祝電が到着、直ちに披瀝されたので、一同歡聲を擧げるなど久しぶりに憂眉を開いた

なほ右祝賀會費は時節柄節約を旨としたので殘金百ミルが浮び出しこれを領事館を經て國防獻金とした（寫眞參照）

邦人に嫌疑？

血染めの自動車 運チヤン殺し モンテアルト驛附近で

去月三十一日パウリスタ線モンテアルト驛からヴイラ・イビチラマに至る自動車道に一タクシーが放棄せられ車內は鮮血に塗れてゐた、又程近くの珈琲園には右タクシー運轉手がピストルの彈丸四發を胸部に受けた慘殺死體が發見された、急報によりモンテ警察の搜査の結果

被害者はモンテ・アルト町のタクシー運轉手アントニオ・タラガといふ男で、當日一日本人を乘せてモンテアルト町からラ、ンジヤル耕地に行つた歸途であることゝ判明、右日本人の訪問を受けたラ、ンジヤル耕地の邦人の言によつて右犯行は往訪邦人の所業ではないかとの嫌疑をかけてゐる

警察では犯人の足跡に就て嚴探中であるが、犯人と目される右邦人は犯行後モンテ町に引き返しタクシーを雇つてジヤボチカバールに向ひ更にバレトス方面に行方を晦ました模樣であると

伯國は想出の地

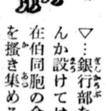
杉村駐佛大使より 柔劍道聯盟へ手紙

佛國へ着任早々柔道六段の腕前を見せて巴里ツ子を驚かした駐佛大使杉村陽太郞氏は幼少の頃、父に當る駐伯第三代杉村公使と共にリオ市に居つたことがあるが、今回當地柔劍道聯盟より寄贈された機關誌「武德」を手にして、想ひ出の地より贈られ感激に堪へず左の如き手紙を寄せた

拜啓、先般「武德」第二號御惠送被成下御厚志深謝致候、伯國は亡父が移民に骨折り終に骨を埋めたる地に有之又柔劍道は青少年の頃銳意修得したる關係も有之貴誌は大なる關心と熱意を以つて拜讀致候、先は右午延引御禮迄如斯御座候敬具

なほ杉村大使の亡父杉村第三代辨理公使の功績は我が移民史上沒すべからざるものがあり、氏は聖州に於ける珈琲耕地の事情各國移民の狀態に關する報告を外務省通商局から公刊して大いにブラジル移民の有望なる事を示したこの報告が生んだパイオニアとして水野龍翁が第一回移民を率ひて渡伯するに至つたものである

浮世様々



▽…銀行部なんか設けては在伯同胞の金を掻き集めるなどブラ拓さん、このところ仲々金の遺繰が上手になつたが、今度はビルデイングを作つて一つ威勢のいゝところを見せやうといふ寸法、だが「策士策に倒る」といふこともあるし餘り圖に乘り過ぎてペシヤンコにならねばいゝがと心配してる向もあるデス

▽…聖市某商店のお神さん、親父さんだけでは旺盛な性ホルモンを調節出來ず、遂に十七になる美少年の番頭さんにその捌口を見付けたまではよかつたが、それも何んと一ケ年に亘つてヨカ事しとつたそうなが、嗚呼遂に惡事露見、目下お家騷動の眞最中とある

待たるゝその日

事變ニユース映畫 後一週間で檢閱完了

多賀特派記者の講演行脚

北、中支戰線に勇躍奮闘中の皇軍將兵活躍ぶりと勞苦とを親しく在伯邦人に報らせ、事變に對する再認識を促すためはる〳〵渡伯した岡山合同特派記者多賀安郞氏は去る七日夜リオへ赴いたが、去る十日夜大使館に於て最近の母國を紹介する講演を行ひリオ始まつて以來の大入り滿員無慮三百名の聽衆を完全に魅惑し去つて大喝采を博し深い感動を與へた、內容は最近支那前線の模樣にまで及び何しろ敵彈の雨の中を馳驅した實戰者であるだけにその實見より割出した功名話には彌が上にも聽衆の心を躍らさずにはおかぬ、在伯皇民として是非共聽かねばならぬものであつたと集ふもの異口同音にテつたと

なほ同氏が持參した讀賣新聞社編輯にかゝる母國ニユースフイルム計五卷は目下大使館の斡旋で檢閱手續中でおそくとも來週一ぱいで完了する豫定であるが檢閱完了次第講演行脚に地方を巡廻することになつてゐる

同氏のフイルムは次の五卷で內容は待望の「南京陷落」などの興奮を盛つた最新版である

第一卷 （一）世界防共網愈々完し （二）事變下、北支の文教使節來る （三）覇權を決する早明ラグビー戰（四）加納少將以下二百柱の英靈帝都に凱旋 （五）步武堂々軍鼓全上海を厭す （六）江南戰線—軍艦旗太湖の海賊を掃蕩 （七）尊き報道戰士蹔なき凱旋（從軍記者の戰死）

第二卷 （一）閑院幕僚長宮、護國の英靈に御參拜（靖國神社）（二）ローマ進軍十五年、ムツソリーニの大獅子吼 （三）南昌空襲の華、樫村空曹神技の凱旋（世界の奇蹟片羽機讀賣獨占）（四）南京總攻擊、完全占領迫る（五）南京陷落この感激天にも響け

第三卷 （一）行幸の榮を仰ぎ陸士卒業式 （二）支那事變特報第百七十六報、百八十五報 （三）中華民國新政府誕生 （四）南京陷落第二報

第四卷 （一）謹而賀皇軍大捷の春 （二）勅題「神苑朝」（三）戰時議會開院式行幸（四）大歡呼に包まるゝ松井最高軍司令官（五）陣中迎春譜

第五卷 （一）軍國の春 （二）皇軍堂々杭州を制す （三）山東攻略の偉業、濟南占領

右のうち第二卷に含まれてゐる樫村空曹の片羽機は世界の奇蹟として世界航空界に一大センセーションを捲起したことは本紙既報の通りだが、この撮影は獨り讀賣紙のみが收め得た記錄的なものである

東山銀行
本店 サントス
支店 サンパウロ リンス

求人 家族者壹家族 野菜作（歩合作も可）生活の保證をなす 右希望の方は御來談又は御照會下さい 中央線モヂ・ダス・クルーゼス驛カツプテーラ街道筋 石和佐司 郵函壹馬

求人
大豆植付に經驗のある方を求む
詳細は手紙又は左記へ
Sr. Camargo
Largo São Bento, 12
São Paulo

かまぼこ いよや
聖市コンデ・デ・サルゼーダス一七五

尋人

北海道空知郡岩見澤町 後藤喜一郎 大正三年三月九日生

宮崎縣南那珂郡細田 日高孫吉 明明廿四年十一月廿八日生

右之者現住所承知致度きに付本人又は御存知の向は當館迄御一報相煩度し

昭和十三年八月十四日
在サンパウロ
帝國總領事館

本會名譽理事丸林久次郎殿は常に本會の爲に多大なる御盡力を下されたる事は感謝にたへず長らく御病氣のところ御養生不叶遂に御逝去致されたるにつきては謹んで哀悼の意を表す

八月三日
パラグアスー自由學園
後援會

謹告

和歌山縣出身各位御中

一、今回入港のリオ・デ・ジヤネイロ丸にて和歌山縣社會課の任勢郁氏が輸送監督として來伯せられましたので此機會を以ちまして廣く同縣出身者諸彥の御參集を仰ぎ歡迎並座談會を開催する事に至しましたから當日萬障御繰合の上御參集下さいます樣切に御願致します

過て乍御手數御同意の方は本月二十五日迄に當方宛にて左記宛御通知を御願します

申込所 聖市コンセレーロフルタード街七〇 和歌山旅館內
Pensão Wakayama - Rua Conselheiro Furtado, 70 - São Paulo

一、日時場所 八月二十八日 午後一時より 於 日本倶樂部
一、會費 金拾五ミル也 當日御持參の事

一九三八年八月

發起人一同

AO ESPORTE NACIONAL

Rua São Bento, 256 - Caixa Postal, 2446
SÃO PAULO

バツト美津濃
ゴールド・フラツシユ……48$000
セレクト・バツト……38$000

スパイク美津濃
No. 9 − 9 1/2……40$000
ナシヨナール……30$000
ジンパース……32$000
スパイク野球用……40$000

トレーニング・ユニホーム
マーリヤ・グロツサー一級品……40$000
同 二級品……28$000

競技用
美津濃製 槍……15$000
美津濃製棒高用棒……50$000
圓盤ヴエルグ……75$000
同 （上）……85$000

ラケツト美津濃
トーナメント……120$000
ハイエスト……120$000
リーダー……100$000

野球用、テニス用、陸上競技用 其他
…… 用具は ……
エスポルテ・ナシヨナル
運動具店へ
日本人部
日本人諸君には 特別の値段を以て御用命に應じます

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — Domingo, 14 de Agosto de 1938 — Num. 1.481

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500

PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 100$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma labella completa de preços para annuncios nesta folha

Um anno de guerra!

Tokio, Jul. — Foi justamente ha um anno que occorreu o incidente da ponte de Marco Polo, causa immediata do conflicto sino-nipponico, que não só continua em franca actividade, como tambem não nos dá uma idéa sequer do seu termino, proximo ou distante. Em seu manifesto ainda recente, reaffirma o general Itagaki, ministro da Guerra, o proposito do nosso governo de proseguir, emquanto não estiver completamente exterminado o desmoralizado regime Chang, a guerra sagrada que o Nippon abraçara, ha um anno, para conquistar em beneficio da Asia Oriental, a paz tão necessitada pelos seus habitantes. Nesse sentido, o factor tempo será coisa sem importancia. O Nippon sustentará a guerra por mais um, dois, cinco, dez ou cem annos.

Prophetas e observadores politicos não cansaram de affirmar que o conflicto durava muito pouco, questão de mezes. Entretanto, periodo muito maior ao previsto por uma grande maioria dos circulos observadores está passando sem que a guerra mostre qualquer signal de "ultima etapa". Dahi a necessidade de ser terminado por parte do governo nipponico o inicio das operações militares que possam pôr termo ao teimoso regime Chang, autor da chamada "resistencia chineza".

A guerra com a China está presentemente na terceira phase. Assim chamamol-a por considerar que o incidente de Lukowkiao, seguido com as negociações com a 29a. Companhia, das quaes o governo nipponico esperava obter uma solução local no Norte da China, deve constituir a primeira phase. A segunda phase pode ser attribuida ao periodo inicial da guerra aberta, em vista do fracasso das negociações propostas pelo governo nipponico. Esta foi, pois, de fogo entre as forças das duas nações.

As operações de Shanghai devem ser consideradas á parte, eis que em tempo algum o nosso governo tencionou envolver a cidade internacional em conflictos de tamanha monta. Dois marinheiros nossos foram mortos inesperadamente pelas forças que se concentravam ao longo da cidade. As nossas alli eram dez vezes menos que as chinezas.

A capitulação de Shanghai e em seguida Nanking, a um de dezembro ultimo, deu o ponto final á segunda phase do conflicto, após o qual se seguiu um periodo de inactividade militar, durante o qual se fez um esforço abortivo para restaurar a paz. A terceira phase se iniciou, com o reinicio das operações militares concentradas contra Suchou e a capitulação desta ultima cidade que viera completar, afinal. O objectivo seguinte é Hanken.

Durante um anno, as nossas forças militares capitularam as pricipaes cidades da China, incluindo Peking, Tien-Tsin, Shanghai, Nanking e Suchow, tendo occupado 1.250.000 kilometros quadrados, cuja área representa o dobro do nosso territorio, com inclusão da Coréa, Ilha Formosa e a metade-sul da Sakalina.

Não obstante todos esses successos militares, a China não se sentiu até hoje reflectida bastante para se render, o que obriga-nos a continuar com as hostilidades abertas ha um anno. Aquelles que accreditam que as guerras modernas devem ser atacadas com uma rapidez muito maior do que as do passado, em virtude do augmento da propensão destructiva de modernas armas offensivas, não acharão o motivo para sustentar a sua theoria, ao observar o progresso dos dois conflictos óra abertos, um na Hespanha e outro na Extremo Oriente.

O primeiro anno já se foi. Estamos agora no segundo. Virá o terceiro, o quinto, o decimo ou o centésimo? Não o sabemos. O tempo saberá explicar melhor a encrenca.

A entrevista realizada entre o embaixador Togo e o titular da pasta do Exterior do Governo allemão

Berlim, 9 — Domei — O embaixador do Japão junto ao Governo allemão, Snr. Togo, visitou hontem o Snr. Ribbentrop, titular da pasta do Exterior. A entrevista teve a duração de mais de duas horas.

O embaixador Togo, começou explicando pormenorizadamente os acontecimentos da fronteira mandchu - sovietica e a attitude do Governo imperial concernente a esse incidente. O ministro Ribbentrop, comprehendendo perfeitamente as palavras do diplomata japonez, criticou severamente a attitude provocadora da U. R. S. S.. S. Excia. menospresou, principalmente os argumentos contidos nos artigos da imprensa sovietica e o conteudo das publicações do Departamento de Negocios Extrangeiros daquelle Governo. Ao terminar a entrevista o ministro Ribbentrop affirmou que apoiava até o fim a attitude japoneza.

Os nacionalistas moços

mostram-se indignados contra a infiltração communista no governo Chang

Shanghai, 10 (Domei) — Soube-se recentemente que elementos moços pertencentes ás associações "Lanyi" e C. C., não concordando com a politica de cooperação com os communistas adoptada por Chang-Kai-Chek, fugiram secretamente de Hankow e chegaram a Shanghai. Esses elementos, que representam a ala direita exaltada do partido nacionalista, depois de chegarem a Shanghai enviaram uma nota energica a Chang-Kai-Chek condemnando a attitude deste em relação ao partido vermelho chinez.

A nota revella de maneira insophismavel o attrito existente entre nacionalistas e communistas. Ei-la: "São numerosas as victimas da politica partidaria, nos 17 annos de governo nacionalista, victimas essas verificadas não só entre os partidarios como simples populares.

Quando, no anno passado, irrompeu o conflicto com o Nippon, o Partido Nacionalista em vista da necessidade da união nacional contra o extrangeiro, procurou a cooperação do Partido Communista. Entretanto, este, mostrando aos poucos seu intento maligno, começou a hostilizar o Partido Nacionalista acabando por atacal-o publicamente.

Não obstante, os nossos companheiros de partido supportaram a insuportavel affronta, levando em consideração a necessidade da defesa nacional.

Comtudo, nós não podemos, de modo nenhum, admittir que se destrua a ideologia "San-Min" (Ideologia nacional-republicana, fundada pelo finado dr. Sun-Yat-Sen). Por esse motivo abandonamos Hankow e resolvemos enviar-lhe esta nota, em que exprimimos o nosso modo de pensar e agir".

A necessidade da restricção nas despezas

O governo resolve fazer uma economia de 252 milhões de yens no orçamento da despeza

Tokio, 9 — Domei — Realizou-se hoje a sessão ordinaria do Conselho de Ministros.

O sr. Ikeda, ministro da Fazenda, expoz o plano de economia no total de..... 252.250.000 yens, no orçamento de 1938. O ministerio approvou o projecto. A seguir, o general Itagaki, titular da Guerra informou o gabinete da situação da fronteira russo-mandchú. O sr. Ugaki, do Exterior expoz por sua vez, o resultado da conferencia Shiguemitsu-Litvinoff realizada no dia 7 do corrente. O ministro do Exterior scientificou seus collegas tambem do resultado da conferencia dos cinco ministros.

O ministro da Fazenda fez, após a reunião, a seguinte declaração sobre o projecto de restrição no orçamento da despeza:

"As medidas ora tomadas para fazer economia dos gastos, abrangem os emprehendimentos que não affectam directamente o fornecimento de generos de primeira necessidade e realizações que não são necessarias para a guerra.

O adiamento desses emprehendimentos constitue um dos processos adoptados para a economia das despezas.

O governo será o primeiro a dar exemplo, restringindo as despezas burocraticas ao minimo possivel. Evitamos, de outro lado, tanto quanto possivel, tocar nos orçamentos de guerra, de augmento de producção, do incremento da exportação, da assistencia aos militares e suas familias.

Como consequencia das medidas ora adoptadas, no sentido de realizar uma estricta economia nos gastos, é possivel que povo e governo tenham de passar por algumas privações.

Comtudo, julgo ser necessario enfrentar estas difficuldades, com espirito de abnegação, em vista da situação grave que o paiz atravessa".

Tokio, 9 = Domei — O projecto de reducção no orçamento da despeza, de 1938, que estava sendo estudado pelos ministerios de Estado, conforme a orientação traçada pelo Conselho de Ministros, acaba de ser definitivamente approvado, na reunião do gabinete hoje realizada.

O total da economia realizada nos gastos sobe a importancia de 252 milhões de yens, de accordo com o projecto ora approvado.

Agradecimentos da mocidade nipponica aos combatentes

Tokio, 10 - Domei — A Federação das Associações dos Moços do Nippon, desejando transmittir directamente, aos gloriosos combatentes do "front", os agradecimentos do povo, vae enviar uma delegação especial á China, já tendo obtido o necessario consentimento das autoridades competentes.

Comporão a delegação, 54 representantes de todas as grandes cidades, e provincias do paiz, representantes esses que serão escolhidos entre os mais aptos moral e physicamente para o desempenho da importante missão. Os representantes da mocidade nipponica deverão ter a edade de 18 a 25 annos. Elles se reunirão primeiro, na cidade de Fukuoka, onde se dividirão em dois grupos, um dos quaes partirá no dia 19 para a China do Norte e o outro para a China Central no dia 30.

Os delegados da Federação das Associações dos Moços do Nippon percorrerão as linhas de frente, durante tres semanas, levando presentes, como jornaes regionaes, cartões postaes, objectos de uso quotidiano, etc. aos combatentes.

A visita dos directores do "Correio Paulistano" ao "Nippak Shimbun"

Com grande satisfacção, recebemos no dia 11 do corrente, a visita dos srs. drs. Oliveira Cezar e Abner Moarão, respectivamente, superitendente e redactor-chefe do grande matutino desta Capital, o "Correio Paulistano".

Os illustres visitantes, acompanhados do nosso directo-proprietario, sr. Miura, percorreram todas as dependencias da redacção administração e officinas do nosso jornal, tendo terminado após uma agradavel palestra com o nosso pessoal.

O cliché mostra um aspecto da visita, vendo-se da direita para a esquerda: srs. Oliveira César, Sack Miura e Abner Mourão.

Cartas do Extremo Oriente

A Mandchuria, paraizo dos immigrantes agricolas

A immigração nipponica no periodo 1932-1937

J. T. Midorikawa
Enviado especial do «NIPPAK» no Extremo Oriente

A pecuaria occupa um logar importante nas colonias da Mandchuria. O numero de animaes pertencentes aos nossos colonos, nas cinco colonias, em 1937 eram: cavallos, 3.000; gado vaccum, 700; carneiros, 3.000; porcos, 2.000 e outros, 60. Com successivos augmentos de áreas cultivadas, torna-se necessario maior numero de animaes. A expansão de mais áreas para diversas lavouras, depende, com effeito, do augmento de animaes domesticos, principalmente cavallos e gado vaccum. Os immigrantes alli possuem, além dos já enumerados, mais de 3.000 gallinhas, 600 outras aves e 200 colmeias de abelhas.

No momento, não nos foi possivel obter dados minuciosos sobre as condições economicas dos nossos colonos localizados na Mandchuria. Por gentileza da direcção da E. F. Sul Mandchuriana, pudemos colher alguns dados referentes á 2a. Colonia sita em Chifuri (Hunanying). E' de se acreditar, porém, que desses dados se resume o movimento geral das outras colonias.

Os dados que se seguem foram colhidos de quatro grupos de agricultores de Chifuri. Um delles, composto de 4 familias, se acha localisado em Niigata Village, de Chifuri. 4 homens, 4 mulheres e 5 crianças compõem taes familias. Isto quer dizer que apenas 4 homens se dedicam á lavoura, reccorrendo aos auxilios dos trabalhadores "coolies". O capital empatado até a presente data se eleva a 7.770 yens, asssim distribuido:

Terras (72 hectares)	M 3.600
Casas	2.800
Instrumentos agricolas	420
Animaes domesticos	950

Desses 72 hectares, apenas 34,12 estão sendo cultivados, dos quaes 31,75 por nipponicos e 2,37 por empregados nativos.

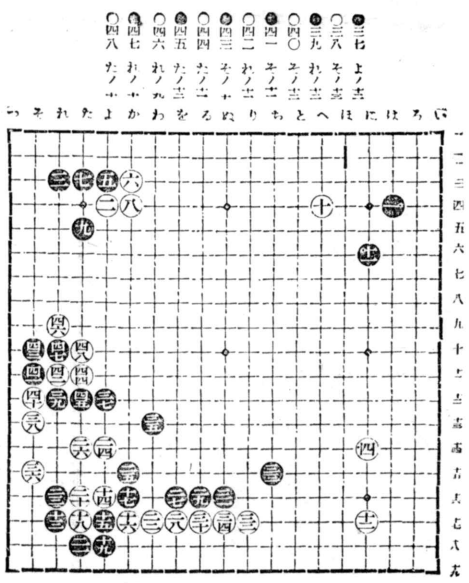
O balanço desse grupo referente ao anno de 1936 foi assim computado:

Renda:	
Productos agricolas	M¥ 4.126,39
Idem animaes	36,82
Occupações secundarias, taes como o serviço de transporte, carpintaria, etc.	316,90
Total	4.480,11
Despezas:	
Sementes	253,98
Salarios de empregados	1,138,92
Animaes domesticos	276,00
Depreciação dos instrumentos agricolas	84,00
Idem dos predios e casas	150,00
Perdas e damnos (5 cavallos roubados e 1 morto)	700,00
Total	2.762,90
Renda liquida	1.717,21
Idem por familia	412,00

(*Continúa*)

段初山丸 番先
段三本橋 (四其)

選特社本



貸 間

下宿、貸間、貸カーマ
空氣清澄、閑靜なる
アルト・ピニエイロス在
⊙曉星學園、双葉、昭和、武田、各洋裁學院に近く通學至便、學生、生徒の寄宿者は責任を以て御預り致します
⊙市の中心への乗合自動車が五十米程の所を通り電車道迄三百米通勤に適す
詳細は
聖市ピニエイロス・ペドローゾ・デモラエス七九一
(耕農園内) 大森

寶石商
カーザ・カストロ
總領事館、ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小耕校并に運動團體より御買求めの榮を賜る

尋 人

熊本縣鹿本郡 (昭和拾年度航)
古閑秋彦

右者御存じの御方は御手數ながら本人若しくは左記宛御一報被下度御願ひ申上候
バウリスタ線バレットス驛イタンベー町
兄 古閑慶吾
郵函 十六

CASA URANO
F. GUEDES 輸入商

化粧品原料 エッセンシヤ
化粧用品原料 ロツロス瓶
其他一般
お菓子原料
卸値段

Rua Oriente, 790 - Phone 9-1096
S. Paulo

賣土地

日本病院の近く極上住宅地
御照會は日本文にても可
Caixa Postal, 3662
S. Paulo

風呂及び釜

專門
駒場ブリキ店
聖市コンデ・サルゼーダス街五一番

Dr. Zephirino do Amaral
MEDICO — OPERADOR
R. Quintino Bocayuva, 36 Phone 2-1602 S. Paulo

聖市サンタカルリンダ病院
外科、內科、婦人科、泌尿器科、一般外科手術、專門病院
診察時間 午前十時より午後二時迄
聖市サンパウロ街三六
電話二一一六〇二

ドトール ゼフイリイノ デ・アマラル

外科手術一般、婦人科、產科、小兒科、其他內科一般
リオ市ガンボア病院にて多年の臨床經驗を有つ
オペラドール・ドツトル
エ・サンタナ・デ・アルメイダ
リンス市電話六一七
日本人通譯あり特に日本人諸氏の爲に御便宜を計り、尙夜間を問はず何時にても往診に應じます